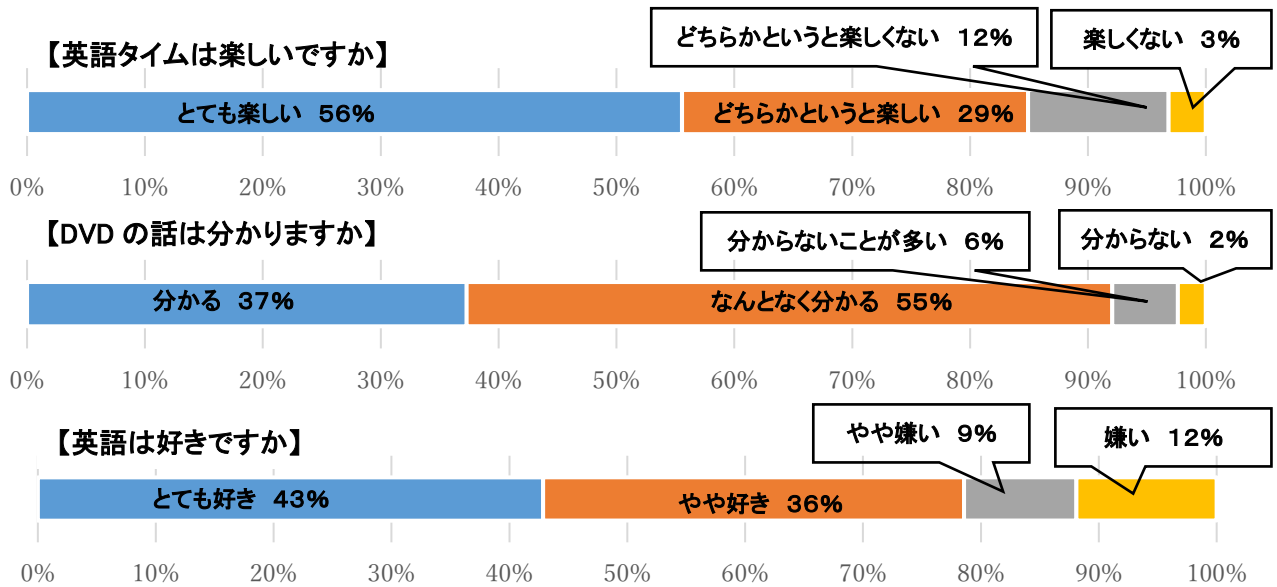


1. 自己評価結果

令和3年度の児童（1～4年生）にアンケート調査を行ったところ、「英語タイムは楽しいですか」という質問に、「とても楽しい」「どちらかという楽しい」と回答した児童は全体の85%、「DVDの話は分かりますか」という質問に「分かる」「なんとなく分かる」と回答した児童は92%でした。また、「英語は好きですか」という質問に、「とても好き」「やや好き」と回答した児童は全体の78%でした。それぞれ昨年度と比べ+8%、+7%、±0%でした。しかし、「英語タイムがとても楽しい」と回答した児童が11%増えている一方で、「DVDの話が分かる」「英語がとても好き」と回答した児童は、それぞれ13%、7%減少しています。

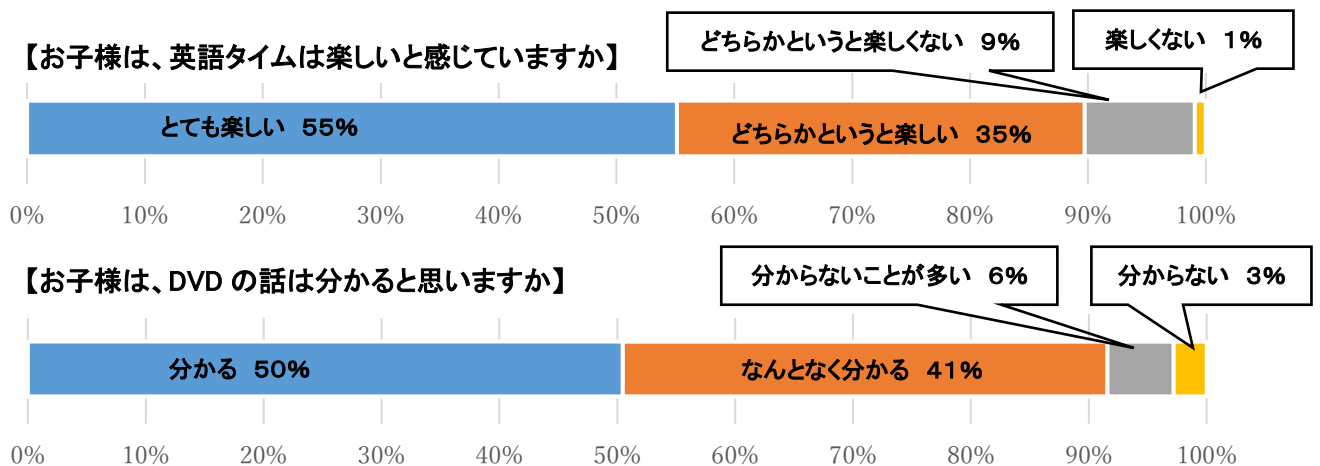
資料1【児童アンケートの結果】



2. 学校関係者評価結果

保護者向けのアンケートでは、「お子様は英語タイムを楽しんでいると感じていますか」という質問に対して、「とても楽しい」「どちらかという楽しい」と回答した保護者は、全体の90%でした。また、「お子さんは、DVDの話は分かると感じていますか」という質問に対して「分かる」「なんとなく分かる」と回答した保護者は91%でした。それぞれ昨年度に比べ+11%、+7%でした。

資料2【保護者アンケートの結果】



また、保護者アンケートからは、以下のようなご意見をいただきました。

- どんな DVD を視聴しているのか知りたい。
- 以前は、よく英語タイムの歌を口ずさんでいた気がします。最近はあまり聞かなくなりました。
- 英語タイムは楽しかったようですが、普段英語に触れていないため、DVD では理解できず残念に思っている様子でした。
- 話している内容が理解できない。分からない。訳してほしい。
- DVD を観るより先生に英語を教わりたい。
- 楽しく学んでくれたら嬉しく思います。
- 子どもが「もう少し分かりやすいと良い」と言っていました。
- タブレットを持ち帰って、英語を家庭でも復習できるといいです。
- 英語にほぼ毎日ふれあえる機会があって良いです。自分の発音を録音して確認できると良いですね。

3. まとめ

資料1から、多くの児童が「英語タイム」での活動を楽しんでおり、簡単な英語に慣れ親しんでいることが分かります。一方で、「DVDの話は分かる」、「英語がとても好き」と回答した児童が減少し、「なんとなく分かる」「やや好き」と回答する児童が増加しています。このことから、児童は「英語タイム」でのチャンツやリズムに合わせての発音練習などの活動を楽しんでいるが、受動的な学習になっていると考えられます。また、「英語は嫌い」と回答する児童が増えていることから、英語に対して苦手意識をもつ児童が増加していることが分かります。

資料2や保護者のアンケートから、多くの保護者が自分の子供は、英語タイムを楽しみながら学ぶことができていると感じていることが分かります。また、「英語を理解できるようになってほしい」と考えていることも分かりました。

今後は、DVDを視聴させるだけでなく、教師が積極的に解説を加えたり、視聴後に補説したりして、話している内容を理解できるようにサポートしていきます。さらに、個に応じた声掛けをすることで、英語に対する理解を深め、分かる楽しさを実感させたいと考えています。できるようになったことを褒め、児童に英語が上達していることを認識させることで、英語に対する苦手意識がなくなり、英語好きな児童が増えると考えています。また、学習した英語を「英語タイム」だけでなく、日常の生活中に活用する場면을意図的につくることで、受動的な学習を能動的な学習へと変えていきたいと考えています。